

平成 29 年度 戦略的 MICE 誘致促進事業

MICE 人材育成業務

委託業務仕様書

平成 29 年 5 月



## 1. 事業名

戦略的 MICE 誘致促進事業 MICE 人材育成業務

## 2. 仕様書の目的

本仕様書は、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下「OCVB」という。）が受託事業者へ委託する本業務に関する仕様を示すものとする。

## 3. 事業期間

契約締結の日から平成 30 年 2 月 28 日（水）

## 4. 事業の目的

OCVB では、沖縄 21 世紀ビジョンで目標としている世界水準の観光リゾート地の実現に向けて、沖縄の MICE 受け入れ体制を強化するため、MICE ビジネスに係る専門的なスキルやノウハウを持った人材の育成を目的に MICE に特化した「集合型研修」を実施する。

## 5. 委託業務の概要

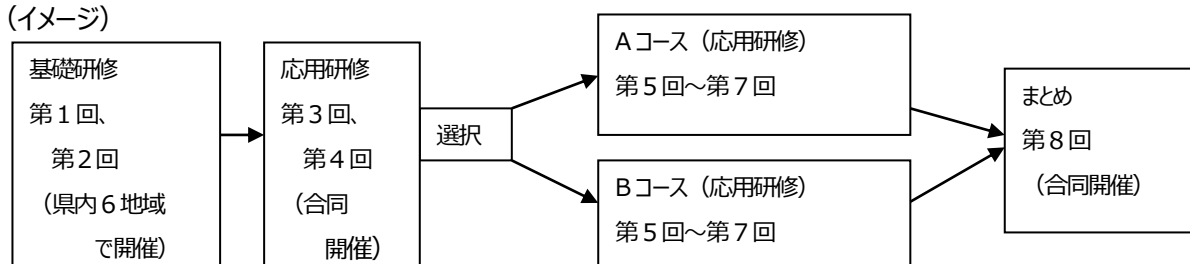
委託業務内容は次のとおりとする。

- (1) 研修プログラムの企画・実施  
(入門編 2 回×6 地域、合同応用編 3 回、応用編 3 回×2 コース 計 21 回)  
※必要に応じて研修当日のアテンドおよびオブザーバーを行う
- (2) 研修受講者募集チラシ作成
- (3) 講師陣の提案、連携
- (4) 研修日程の調整
- (5) 県外在住の講師へ依頼をする場合、その交通手段ならびに宿泊先の手配
- (6) 会場の手配
- (7) 講師陣への諸謝金支払
- (8) アンケートの実施と集計結果の作成
- (9) 記録用写真の撮影
- (10) 事業完了報告書の作成及び証書類の管理
- (11) その他、OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務

### 《プログラム一例》

- 第 1 回、第 2 回：MICE ビジネスの特性と現状/ 国内外の MICE 市場の動向/ MICE 投資対効果を学ぶ/  
MICE プロモーション方法/ MICE 主催者のニーズ（ホテル、会議施設、自治体、観光事業者に  
求められていること 例：チームビルディングやユニークベニュー等の MICE コンテンツ）  
より多くの受講者が参加できるよう、沖縄本島北部・中部・南部及び 3 離島（宮古島、石垣島、  
久米島）の地域別に分けて開催
- 第 3 回、第 4 回：応用編を開始するにあたっての参加者顔合わせ、チームビルディング体験等を合同で実施
- 第 5 回～第 7 回：2 コースに分かれて、専門知識、実践的なスキル・ノウハウを身につける  
(コース分類例：プロダクト提供 (A) コース、施設運営事業者 (B) コース)  
県内での現場視察を複数回取り入れる
- 第 8 回：全体まとめ、ふりかえり（提案企画書作成の基本、プレゼンテーション等）

(イメージ)



## 6. 開催回数及び受講人数

(1) 開催回数：21 回程度

(2) 受講人数：130 名程度（複数コース分け可）

基礎研修：本島北部 20 名、中部 20 名、南部 30 名、宮古島 20 名、石垣島 20 名、久米島 20 名

応用研修：本島内 30 名 程度

## 7. 見積書の項目

以下の項目で見積もること。尚、各項目について可能な限り明細が分かるように見積もること。

- (1) 研修プログラムの企画、および運営
- (2) 研修会場費用
- (3) 講師陣への謝礼費
- (4) 講師陣の旅行手配の費用
- (5) 研修で使用する文具等雑費費
- (6) アンケートの実施、回収、集計
- (7) 記録用写真の撮影
- (8) 事業完了報告書
- (9) 管理費
- (10) その他

## 8. 成果物等一覧

受託事業者が提出すべき成果物等は下記のとおりとする。

項目	内容
記録画像データ	データ納品（JPG ファイル / DVD-ROM ファイル 1 部）
事業完了報告書	本事業の報告書 5 部および報告書の電子データ 1 部（PDF ファイル） ※アンケート集計結果含む

## 9. スケジュール

6 月 ： 受講者募集（研修プログラムが固まり次第、受講者募集は OCVB にて実施する）

7～11 月 ： 研修実施（予定）

2 月 ： 報告書提出

※受託事業者は平成 30 年 2 月 28 日（水）までに受託内容の報告を行うこと。

## 10. 瑕疵担保責任

OCVBへの引き渡し日から起算して1年間、成果物に瑕疵があるときには、受託事業者は無償で当該成果物の修補を行うこと。

## 11. 著作権・特許等

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に対し、著作権法第27条および第28条に定める権利を含むすべての著作権（財産権）を、OCVBに無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物および第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前にOCVBの承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、OCVBの同意を得なければ、著作権法第18条ないし第20条に規定されている権利を行使することができない。
- (3) 本事業作成物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県およびOCVB内での利用、或いは沖縄県又はOCVBが観光振興に資すると判断した上で第三者への提供が可能なもののみを使用する。
- (4) 本業務の成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含めすべて受託事業者において責任を負うものとする。著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。

## 12. 要求仕様

- (1) 研修プログラムの企画・実施  
(入門編2回×6地域、合同応用編3回、応用編3回×2コース 計21回程度)
  - ① 県内MICE分野における人材の課題をふまえた内容であること。
  - ② 基礎知識をふまえ、専門的な応用知識を効果的に学べる内容であること。
  - ③ 応用知識については、必要に応じて複数のコースを作成すること。
  - ④ 研修に係る資料作成等。
  - ⑤ 必要に応じて研修当日のアテンドおよびオブザーバーを行う。
- (2) 講師陣の提案、連携
  - ① 県内MICE人材の課題、レベルに合致する講師を選定すること。内容はOCVBと協議して決定する。
  - ② 講師とのプログラム作成、スケジュールに関して調整を行うこと。
- (3) 研修日程の調整
  - ① 研修は平成29年7月～平成29年11月中（予定）までに実施をすること。
- (4) 県外在住の講師へ依頼をする場合、その交通手段ならびに宿泊先の手配
  - ① 講師は県内/県外在住は問わないが、その交通費・宿泊費は予算の範囲内で計上すること。
- (5) 会場の手配
  - ① 各回において、受講者が十分な余裕をもって研修を受けやすい空間であること。
- (6) 講師陣への諸謝金支払
  - ① 講師への諸謝金費用についても契約金額内で計上すること。
- (7) アンケートの実施と集計結果の作成
  - ① 研修において、受講者へのアンケートを実施し、回収、集計を行うこと。
  - ② アンケートの内容は、OCVBと協議して作成すること。
- (8) 記録用写真の撮影
  - ① 研修時の様子の記録用写真の撮影を行うこと。
- (9) 事業完了報告書の作成及び証書類の管理
  - ① 事業終了後は、A4カラーで印刷された報告書を5部提出すること。また、撮影した画像について著作権者人格権は行使しないものとする。
- (10) その他、OCVBと協議の上、業務遂行に必要とされる業務

## 13. 注意事項

- (1) 関係証拠書類の整理・保管

- ① 業務にかかった費用内訳およびその支払を証明する証票書類を 1 部提出すること。証票書類とは、別添資料に明記しているものとする。
- ② 日当の金額については証票類として社内規定等を提出すること。
- (2) 資料の提出及び説明等の協力について
  - ① 本件業務は沖縄振興特別推進交付金を活用するものであり、該当交付金の適正な執行を確認、検査するために、業務終了後であっても、事業の関係書類を保管し、必要書類の準備や説明等について積極的に協力すること。
- (3) 業務適用範囲の確認
  - ① 本仕様書に定めのない事項ならびに記載内容の詳細については、OCVB が委託者と協議のうえ決定する。
- (4) 法令厳守
  - ① 本件業務の実施に当たっては、関係法令、条例及び規則等を厳守すること。

=====

【お問い合わせ先・書類提出先】

一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー

受入事業部 MICE 課（山城）

TEL: 098-859-6130 FAX : 098-859-6222 e-mail : [mice@ocvb.or.jp](mailto:mice@ocvb.or.jp)

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831-1 沖縄産業支援センター2F